＜指導案①＞

「和食」って何だろう（１時間）

　(1)　本時の目標

　　　・「和食」に関心をもち，無形文化遺産に登録された「和食」について理解する。

　(2)　準備・資料

　　　・ワークシート①、紙芝居、紙人形

　(3)　指導過程

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 学習活動（・予想される生徒の反応） | 教師の支援及び留意点 | ☆評価 |
| １　外国人観光客に「『和食』を食べたいが，何を食べたらいいか」と聞かれた場面を想定し，どのように答えるかを考える。  　・日本人が食べているもの  　・寿司や刺身など生の魚料理  ・天ぷらとすき焼きを紹介する  　・焼き魚と卵焼き，漬け物は和食っぽい  　・料理名は出るけど和食の説明ができない  　・かつ丼やラーメンも日本食だよ  　　ラーメンは中華ではないの？    ２　和食と聞いてイメージするものを考え，発表する。  料理名・寿司　・天ぷら　・卵焼き　・納豆  栄養面・健康的　・魚が多い　・油が少ない  盛り付け  ・見た目が美しい　・その土地の旬の食材  行事食・お正月　・伝統行事に関連している  その他　・世界遺産　・日本文化  ３　無形文化遺産に登録された「和食」の特徴を知る。  ４　外国人観光客の質問にどのように答えるかを再考し発表する。  ・「和食」はその土地でとれた食材を，日本の  調理方法で料理したもの。ここは海が近いの  で，刺身定食がよいと思う  ・秋なら栗や松茸などを使った料理がよいと  　思う  ・一汁三菜の和定食がおすすめです。 | ・生徒が場面をイメージしやすいよう，紙芝居や紙人形などを用いて問いかける。  ・「和食」について疑問をもつ生徒の声を拾い，「和食」への関心を高める。  「和食」って何だろう  ・マインドマップを活用する。  ・後で「和食」の特徴を説明する時に，生徒が理解しやすいように，料理名，栄養面，盛り付け，行事食など，関連した項目に分類して板書をする。項目名は，特徴を説明する時に記述するとよい。  ・「無形文化遺産」として2013年12月に登録されたことを伝える。  【「和食」の特徴】  ①多様で新鮮な食材とその持ち味の尊重  ②健康的な食生活を支える栄養バランス  ③自然の美しさや季節の移ろいの表現  ④正月などの年中行事との密接な関わり  （参考：農林水産省ＨＰ）  ・登録された「和食」は，料理ではなく日本の食文化であることを理解できるよう，「和食」の特徴を踏まえて，考えさせる。 | ☆「和食」に関心をもち，考えている。  （ワークシート①，活動の様子）  【関】【知】  ☆「和食」の特徴を理解している。  （ワークシート①，  活動の様子）【知】 |

(4)　評価

　　・「和食」に関心をもち，考えている。（ワークシート①，活動の様子）

　　・「和食」の特徴を理解している。（ワークシート①，活動の様子）